

NEWS - 西日本防災システム

2014 04 11

4月11日首都高速道路会社は、3月20日に発生した渋谷区の首都高速3号線工事現場での**火災**で、塗装の除去を行った作業員が施工計画にはない**引火性の高いシンナー**を使い、照明の電球にシンナーが付着し、それが出火原因であるとする**調査結果**をまとめたそうです。

照明は表面が高温となる200ワット白熱球で、足場のシートも難燃性ではなく、火が燃え移って延焼したようです。

火災は約3時間後に鎮火しましたが、一部区間で完全通行止めが続き、23日午後になり、全面復旧しました。原因が判明しますと、「単純な作業ミス」で済んでしまいそうな原因なのですが、その社会生活に与えた影響はすごいものでしたね。建築に係わる仕事をされる方は、充分にお気を付けください。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 